



図書館利用について思うこと

医療人育成センター長 相馬 仁
(教育開発研究部門 部門長、教授)

研究をはじめ学習のために文献や資料の検索には、図書館の存在は不可欠であることは昔も今も同じであるが、図書館利用の方法もずいぶん様変わりした。

私が本学に赴任した27年前は紙ベースの時代で、図書館といえば雑誌や書籍を調べに行き、あるいは学外施設に文献コピーを依頼するという、完全アナログ時代であった。それに比べ今はまず、ネット環境をフルに利用して、種々の検索エンジンを利用し、いろいろなサイトを当たり、PDFで文献等を手に入れられないか、というところから始まる。もちろん、古い文献を探す必要に迫られることもないわけではなく、図書館に足を運ぶこともまれにはある。

振り返ってみるとデジタル化時代というのは、なんと便利なものかと思う。製本された重たい雑誌を何冊も自分自身で運んで、コピーをとっては元に戻す力作業を行っていたかつてが懐かしい。図書館は、総合情報センターの一部という位置づけであるが、ネットワーク環境が整えられているため、自分のオフィスで図書館に行くのと同じ機能が果たせる今は、とても快適である。

便利な時代であるが、文献をPDFで受け取るのはすべてが無料ではない。大学として費用負担して契約を結ぶ必要がある場合も、個人で負担して手に入れることもある。多くの雑誌が、その料金を年々値上げしてくるという現状がある。一方、一定の投稿料を課して、フリーダウンロードを許す雑誌もある。その料金も雑誌によってずいぶんと幅がある。しかし、論文という形で結果を公表

し、業績を残すことを求められる教員は、そのお金のことを気にしなければならず、この時代はこれからも続く。

一方、学生が勉強場所として図書館を利用しているのを目にし、ちょっと近寄ってみると、かつてと変わらない感じがする。すなわち、グループで話し合いながら、学習や試験の準備が積極的に行われていることである。グループで学習することがいろいろな意味で効果を上げることもあり、学生の学習場所として考えられた場所となっていることを期待する。しかし、一番の図書館利用者である学生が、使いやすさと効率を考えて、多くの意見を出していてもらいたいとも思う。

また、このところはEndNoteやクイックレファレンスなどネットワーク環境を利用したデータベースの使用法の講習会など、図書館職員が時代の流れに対応する様々な取り組みがなされている。高等教育機関の図書館機能が整っていると自負できる。利用者のことを考えてもらっている多くの取り組みをお願いしたい。



1991年ノーベル医学生理学賞受賞のNeher先生と記念撮影
平成27年11月27日(台湾、高雄市での学会にて)

平成 29 年度国外学術雑誌整備について

国外学術雑誌購読価格は、毎年の版元価格の値上げ（7～8%）により高騰を続けおり、世界的にも”学術雑誌の危機（Serials Crisis）”が叫ばれています。本学においても購読価格高騰対策は毎年度の重要課題となっており、平成 28 年度からは Elsevier 社発行誌の年間購読を大幅に見直し、「トランザクション」と呼ばれる論文単位購読形式（Pay Per View、以下 PPV）を実施しました。また、平成 29 年度の整備検討に向け、昨年 1 月と 3 月の 2 回にわたり全学購読希望調査を実施いたしました（以下、全学購読希望調査）。これらの取り組みは電子ジャーナル購読に大きく舵を切った平成 15 年度の「国外学術雑誌冊子体 1 誌化」以来の大きな変革となりました。ここでは平成 29 年度国外学術雑誌の整備について説明いたします。なお、平成 29 年度国外学術雑誌整備に係る検討資料及び購読中止タイトル等の詳細につきましては、下記ホームページに学内限定により掲載していますので、ご参照ください。

新着情報「平成 29 年度国外学術雑誌整備結果について」

url <https://infonavi.sapmed.ac.jp/jpn/news/2815/>

1 平成 29 年度整備の基本的な考え方

- ① 包括契約コンソーシアムについては、平成 28 年度整備方針を継承し整備内容を維持する。
- ② 昨年実施した全学購読希望調査と 7 月実施の講座等の予算による講座購読誌希望調査（以下、講座購読希望調査）の結果を踏まえ決定を行う。
- ③ 全学購読希望調査の結果を踏まえ、希望がなかった個別購読誌については継続要件（希望がなく、かつ年間 50 ダウンロード以下は非継続）により選定する。

2 検討・整備内容

(1) 講座購読誌

- ① 講座購読希望調査の結果、電子ジャーナル 9 講座 10 誌について中止希望がありました。他への影響がないことから購読中止としました（表 1）。

なお、Laryngoscope を除く、Wiley-Blackwell 社の 3 誌については、後述の包括契約コンソーシアムへの参加により引き続き閲覧することができます。

- ② 講座購読希望調査の結果、新規に購読希望のあった 3 誌は他への影響がないことから購読することとしました（表 2）。なお、Journal of Nursing Scholarship は後述の Wiley-Blackwell 社包括契約コンソーシアム誌のため購読費用は発生しません。
- ③ 全学購読希望調査の結果、希望がなかった講座購読の包括契約コンソーシアム維持対象誌 8 誌について、当センター予算で継続することとしました。

(2) 当センター購読誌

- ① 全学購読希望調査で希望がなかった個

表 1. 講座購読中止 10 誌（電子ジャーナル分）

誌名	出版社
British Journal of Clinical Pharmacology*	Wiley-Blackwell
Developmental Cell	Cell Press
Diabetes	Am Diabetes Assoc
Head & Neck**	Wiley-Blackwell
Infection, Genetics and Evolution	Elsevier
Journal of Nursing Administration	Lippincott
Laryngoscope	Wiley-Blackwell
Prostate**	Wiley-Blackwell
Respiration	Karger
Therapeutic Drug Monitoring	Lippincott

※包括契約コンソーシアムにより閲覧可能なタイトル

表 2. 講座新規購読希望誌

誌名	出版社
Journal of Vascular Surgery	Elsevier
Advances in Nursing Science	Lippincott
Journal of Nursing Scholarship*	Wiley-Blackwell

※包括契約コンソーシアムにより購読費用が不要タイトル

別購読誌 49 誌について、購読中止に係る再度の意見聴取を実施した結果、継続 11 誌、中止 38 誌としました。

- ② 全学購読希望調査の結果、Wiley-Blackwell 社発行誌について 317 誌の購読希望があったことから、平成 29 年度より包括契約コンソーシアムの Medical & Nursing (M&N) コレクションを導入することとしました。その結果、購読希望 317 誌に対し、222 誌(70%)について要望に応えることができました。

(3) Elsevier 社 PPV

平成 29 年度の Elsevier 社 PPV の新規購入分について論文単価の増額分を平成 28 年度論文単価と同額となるよう値上がり分を補てんすることとしました。なお、Elsevier 社 PPV の概要は右コラムをご参照ください。

(4) 提供予定誌数

平成 29 年度における提供予定誌数は表 3 のとおりです。

3 おわりに

先のとおり本学の国外学術雑誌整備は平成 28 年度において Elsevier 社 PPV の導入や 2 度にわたる全学購読希望調査の実施により大きな転換をはかり、版元価格高騰の難局を乗り越えることができました。また、電子ジャーナルについては Wiley-Blackwell 社包括契約コンソーシアムへの参加により提供誌数で 419 誌の増加となる結果になりました。

Elsevier 社 PPV をご存知ですか？

Elsevier 社が提供している全ての学術雑誌を対象とし、1 論文単位で PDF 版論文を購入できるサービスです。当センターHPの電子ジャーナルリストでは、「Elsevier ScienceDirect PPV (本学事前申請者限定)」により表示されています。また、ご利用手続きは次のとおりです。

- ① 当センターへの事前申請が必要です。申請は講座単位となります。
- ② 1 論文単位 1,944 円 (税込)、支払は年度始めに公費一括払いとさせていただきます。
 - ・購入した PPV の有効期限は 18 カ月です。ただし、平成 28 年 3 月までにお申し込みいただいた PPV は将来にわたり利用できます。
- ③ 私費払い、平成 29 年度新規購入分に対する補てん(本文 2-(3))については現在検討を進めています。詳細が決定次第、あらためてご案内いたします。

しかしながら、版元価格の値上げや為替レートに円安など国外学術雑誌価格を左右する要素への対応については抜本的な解決に至っていないのが状況です。当センターとしましては、今後も利用者サービスの向上に努めたいと考えております。学内所属員のみならずさまにつきましては、全学購読希望調査のご協力に感謝いたしますとともに、引き続きのご協力をお願いいたします。

なお、学術雑誌購読について、ご不明の点やご意見などございましたら当センター図書係までご照会ください。(内線 24230、e-mail : serial@sapmed.ac.jp)

表 3. 平成 29 年度整備誌数 (予定)

区 分	H28 年度		H29 年度				差 異	
	購読誌数 (①)	提供誌数 (②)	新規購読 (③)	購読中止 (④)	購読誌数 (⑤=①+④)	提供誌数 (⑥)	購読誌数 (①-⑤)	提供誌数 (②-⑥)
冊子体								
情報センター	81	—	0	10	71	—	-10	—
講 座	40	—	0	3	37	—	-3	—
合 計	121	—	0	13	108	—	-13	—
電子ジャーナル								
情報センター	187	4,660	8	28	167	5,079	-20	419
講 座	81	—	2	18	65	—	-16	—
合 計	268	4,660	10	46	232	5,079	-36	419

註 1. 情報センターの H29 年度新規購読は、講座購読のコンソーシアム維持対象誌をセンターで購読に移行
 2. 電子ジャーナル提供誌数は、包括契約コンソーシアムによる閲覧数を含む誌数

今春退職予定の教職員及び卒業、課程修了予定の皆様へ

1. IDカード更新手続きについて

区分	4月以降	現IDカードの有効期限	変更手続き	IDカード受け渡し
医学部学生	本学研修医	4月1日(土)	不要	臨床研修センター
	学外研修医	3月17日(金)	利用申請書提出	図書館
保健医療学部学生	附属病院勤務(看護部)	図書館カウンターにお問い合わせください	不要	看護部
	附属病院勤務(看護部以外)		利用申請書提出	図書館
	学外勤務	3月17日(金)	利用申請書提出	図書館
課程修了者	大学院、研究生	3月31日(金)	不要	所属講座、教室
	上記以外	3月31日(金)	利用申請書提出	図書館
教職員	学外勤務	3月31日(金)	利用申請書提出	図書館

注1: 学生証(IDカード)は、学務課へ返却下さい。

注2: 「学外研修医、学外勤務」となる方のIDカード発行は、道内在住及び道内勤務者に限る。

注3: 課程修了者は、大学院生、研究生、聴講生

※利用申請書提出の開始日は、3月1日(水)です。



2. 提供サービスについて

4月以降、学内所属員から外れる方については、下表のとおりになります。※の項目については、必ず手続きを行ってください。

区分	変更内容	備考
メールアドレス	変更なし	本人の申し出以外、継続利用 ※学部学生の学籍番号メールは除く
リモートアクセス	利用不可	契約上の制約による
※メールリングリスト	管理者の場合は、変更する	ホームページから申請(注1)
※(重要) マイクロソフトオフィス	アンインストール必須	アンインストール作業を実施の上、申請書を提出(注2)

注1: メールリングリストの管理者変更

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/contact/form5/>

注2: マイクロソフトオフィスのアンインストール申請書

<https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/uploads/uninstallform.doc>

◆総合情報センターへのお問い合わせ先

お問い合わせ内容	内線	E-mail	照会先
図書館の利用に関すること	24240	libserv@sapmed.ac.jp	利用サービス(カウンター)
学内所属員の文献複写依頼に関すること	24180	illo@sapmed.ac.jp	利用サービス
学外からの文献複写の申し込みに関すること	24170	illr@sapmed.ac.jp	利用サービス
図書に関すること	24160	book@sapmed.ac.jp	図書係
雑誌に関すること	24230	serial@sapmed.ac.jp	図書係
札幌医学雑誌に関すること	24160	satuisi@sapmed.ac.jp	図書係
メール・アドレス、LANへの機器接続に関すること	22390	icccj@sapmed.ac.jp	総務・情報システム係
図書館へのご意見・ご要望に関すること	24130	konno@sapmed.ac.jp	主任司書

誌名「Barks(バークス)」は、本の語源でありますラテン語の「樹皮(liber)」の英訳です。

バークス
Barks

Sapporo Medical University
Scholarly Communication Center

北海道公立大学法人
札幌医科大学附属総合情報センター

〒060-8556 札幌市中央区南1条西17丁目
TEL 011-611-2111(代表) FAX 011-641-9646

URL <https://infornavi.sapmed.ac.jp/jpn/> E-mail libserv@sapmed.ac.jp